

緑のカーテン取り組み情報



お名前(ニックネーム)	内藤 邦雄さん (甲府市)		
育てた植物の種類	ゴーヤ		
設置場所	住宅南側の窓1カ所、西側の小窓2カ所		
カーテンの大きさ	高さ: 約 2.7 m, 幅: 約 12 m 他	取り組み年数	7年目

緑のカーテンの効果

昼間は雨戸を2/3程度と厚手のカーテンを閉めて、外気(熱風)を室内に入れないようにすることで、室温は29 ~ 32 に収まりました。エアコンは使用せずに、クールビスと扇風機で過ごしています。就寝時に室温が30 を超えている時は、設定温度29 で3~5時間ほどエアコンを使用します。今年の電気使用量の実績は、7月が112kWh、8月が163kWhとなりました。

毎朝、窓を開けた時に室内に入ってくるゴーヤの香りに癒やされます。

育てる際の工夫・苦労

ゴーヤは子芽・孫芽がよく出るので、緑のカーテンづくりには最適です。稲わら堆肥等の有機肥料をしっかりと入れて通気性と保水・保肥性に配慮して、連作障害が出ないように地力を付けることに留意しました。今年は、たくさんの落葉の未成熟腐葉土を入れたために結果として保水性が極めて悪くなり、夏の到来とともに生育にブレーキがかかってしまいました。何回か覆土して、水やりも4~5回行うようにしました。例年6月中にはカーテンが完成していますが、今年は仕上がりが10日ほど遅れてしまいました。

摘心作業が少し遅れてしまったため、下端の子芽の発育が悪くなりました。肥料については、微量要素入りの固形肥料を使用して、2週間ごとに施肥を行いました。病虫害対策は、これまで行っていませんが、被害にあったことはありません。

感想・楽しみ方など

収穫したゴーヤは、毎朝バナナと一緒にミキサーでジュースにして飲んだり、ゴーヤチャンプルやこんぶ和えにして食べていますが、大半は知り合いの方などに配っています。

今年は、改めて土づくりの重要性を思い知らされました。